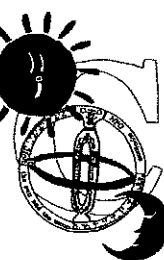


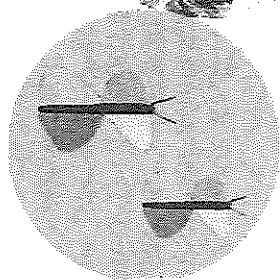
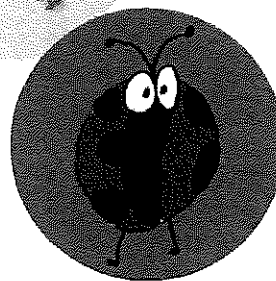
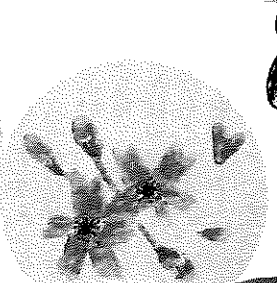
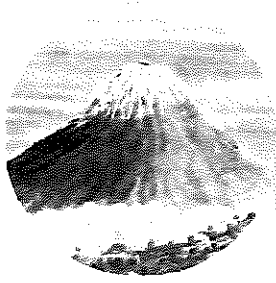
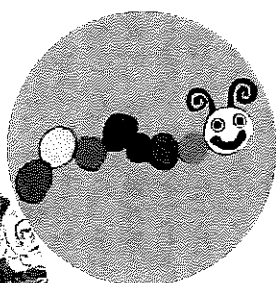
KSKQそよかぜ通信

E-mail: minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

N O . 204



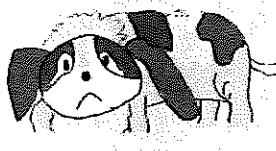
2026
そよかぜの家オリジナルカレンダー発売!



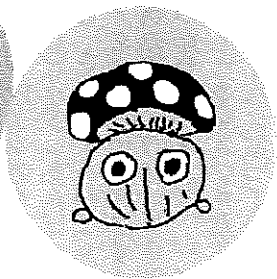
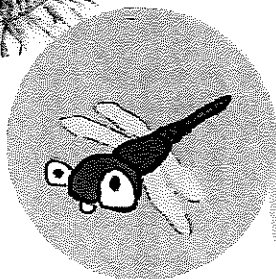
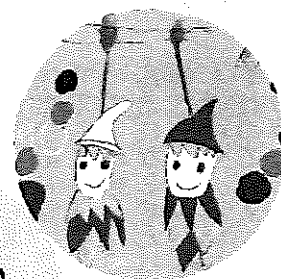
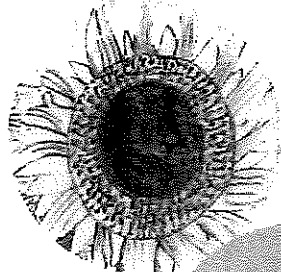
そよかぜの家

2026年

3匹のハチの子
はっちゃんの大冒険



オリジナルカレンダー
ORIGINAL CALENDAR



あつすぎる夏に・・・。

暑い、暑い、暑い。と言いながら、今日は、もう8月25日。夏も、終盤になるのかなあ。ならないだろうなあ。なつてほしいなあ。なんて考えてる今日この頃です。

早く、秋が来てほしいなあ。もう！暑すぎるよ。って。でも、天気予報によると、9月も暑い日が続くようです。10月になつても、猛暑日が、あるとか？ないとか。もう、うんざりします。そもそも、秋っていうのは、大体

何月くらいからのことだろうか？私は9月くらいから『秋』だという認識でいたのですが、この何年かは、いつまでも暑いし、もみじは、いつまでたつても、あかくならないし。11月くらいとちやうかな？ってちよつと恐ろしいような話も聞くし。そおえば、この何年か、もみじは、11月ごろからあくなり始めてるような気がする。ん、ん、ん、ん？ちよつと、調べてみようと思つて、インターネットで調べてみました。

それによると、(コトバンク…デジタル大辞泉)【四季の第三。夏と冬の間で、日本では9・10・11月を言う。暦の上では立秋から立冬の前日まで(陰暦の7月から9

月まで)をいい、天文学では、秋分から冬至まで。昼が短く、夜が長くなる。この季節は涼しくさわやかで五穀や果物の収穫期でもある。しかし、一方では台風や前線の影響で雨が降りやすく、秋の空「など変わりやすいことのとえにされる。やがて木々は紅葉し、草花は枯れて、冬へ向かう」ということでした。やっぱり！暦の上では、9月であつていたんだなあ！うん、うん、うん。それにしても、暑い。年々、秋が短くなつていきますよね。秋はともきれいでとても良い季節。「なくなつてしまわないようになんとかしなくっちゃあ。」って思います。勉強しなくっちゃあね。

暑い、暑い、夏バテだあ。なんて言つていても、お盆休みもゆつくりあつて。ゆつくり過ぎるくらい、たつぷりとお休みは、あつたのに。当然チャージも充分にできているはずなのに、暑すぎたせいか？だらけてしまつていいのか？身も心も全部どろおんと溶けてしまったかのような私があります。お盆休みがあけて、一週間がたつてゐるのだから、しつかりしなきゃあね。がんばります！もう少し、しばしお待ちください。近日中にシャンとします！？身も心も、とけてしまつたかのようなお盆休みでしたが、読書は充分にできました。ただただ、うれしかったです。宮部みゆきさんの本(タイトルは覚えていませんが

：)お休みより少し前に読み終えて、三浦しをんさんの『舟を編む』を読んでいた。もうすぐ読み終わるぞ！っていうところで、お盆休みに突入しました。それで、なぜか三浦しをんさんの『舟を編む』は、あとちよつとのところまで置いて、ずっと以前に読みかけていた阿部智恵さんの『空棺の鳥』八咫鳥シリーズ4を読み終えて、八咫鳥シリーズ5の『玉依姫』を読み終えました。

八咫鳥シリーズ5作目である？「玉依姫」は、シリーズ化する前に、一番初めに書いていた物語だということでした。「怖い」「恐ろしい」ところもいっぱいあつたけれど、感動したのです。

『玉依姫』の主人公の志帆ちゃんのがん性が好きでした。こんなふうに生きれたら。なんて感じました。私の理想、なりたい私が『玉依姫』の中の志帆ちゃんの中にはいたのです。「自己犠牲」という見方もあるかもしれないませんが、でも、そんなじやないと、私は思つのです。自己犠牲という。宮沢賢治なのかなあ。私は、「雨ニモマケズ」は大好きだけど、他の作品は何となく怖い。嫌いということではないけれど、近寄りたくないというか。自己犠牲だからでしょう？全部の作品をちゃんと読んでもないのに「近寄りたくない。」なんて、そんなこと言つたらいいませんよね。賢治さん、ごめんなさ

い。宮沢賢治ファンのみなさまがた、本当にごめんなさい私がイヤだと感じるのは、自己犠牲というのは悲しすぎるからでしょうね。超、あまちゃんの私は、やっぱりはっぴいえんが大好きです。はっぴいえんが良いと思うのです。

やなせたかしさんの「アンパンマン」も、ちよこつと自己犠牲(ちよつとじゃないか！)がありますよね。アニメを見ていて怖いときがありました。やなせたかしさんという、今放送中のNHKの朝の連続テレビ小説『あなばん』の「たかし」さんですよ。『あなばん』みえます！大好きです！戦時中の話の時は、唯ひたすらに恐ろしかったです。そして、一緒に『あなばん』を見ていた息子と一緒に唯ひたすらに怒っていました。時々泣いて。例のごとく一週間分を録画して休みの日にまとめてみるので、息子も一緒に見るのです。「戦争が終わつて、今まで、正義だと思つて信じていたものが180°逆転してしまつた。どんなときにも逆転しない正義を何年かかつても、見つけたんだ。」つて言つて、結婚した主人公のぶちゃんとかかしさんは『逆転しない正義』を探していくのです。「どんなときにも、逆転しない正義」...それって、すばらしい。素敵です。私も探したい。そして、見つけたい！！やなせさんは見つけたんで

すよね。逆転しない正義……。それがあんなにまんま。色々あってたかしさんと向き合って話をするのぶちゃん「私は、何ものにもなれなかった。」と言っただけです。そんなのぶちゃんにたかしさんが言うのです。『のぶちゃん、今まで全力で人のために走ってきた。のぶちゃんがいないかったら、今の僕はいないよ。のぶちゃん、そのままで、最高なんだよ。』って。自分はダメだあって思うことありますよね。のぶちゃん、うまくいかないことがいっぱいあって、もやもやしていて気持ち沈んでいたのだと思います。そんな時にたかしさんからかけられた「そのまんまで最高なんだよ。」っていう言葉……。どれだけ嬉しかったか。どれだけ助かったか。素敵だなあって思っただけ、泣きそうになりました。

「そのまんまでいいよ。」ってどういうこと？

自分は、自分であって他の誰でもない。いくら、隣の芝生が青くても、いくら〇〇さんのことが羨ましくても、〇〇さんにはなれない自分。今の自分を受け入れて、向き合っただけ、それでも自分のことが嫌いなら、好きって思える自分になれよー！どんな人が自分は好きなのか考えて、そういう人に少しずつでも近づいていけばいい。自分が自分を嫌いなんで、悲しすぎるし、かわいそうすぎる。って思

うのです。解かっている。解かっている。解かっている。人のこと羨ましがってばかりの私です。隣の芝生が青くってまぶしくって……。でも、それでも、うじうじしているのはイヤ。卑屈にもなりたくない。どういう人でありたいのかを思っただけ、どういふ自分なら大好きなのかを思っただけ、もがいて、あがきながらすすんでいっているつもりで、日々を過ごしている私です。

私は、スピードはとも遅いけれど、本を読むのが好きです。とても偏っているとは思いますが……。この本は、失敗したなあって思う本も中にはあったように思います。が……。物語の中に理想の自分を探しています。物語の中にならぬ理想の自分や、理想の世界をさがすなんて何だか「でたらめ」ですか？でも……。でもね。

何かができるから、社会の一員だというわけではなくその人はその人であるということだけで、社会を耕す存在だということ。

障害者と呼ばれるひと、健全者と呼ばれるひと、どんな命もそのままで、社会を世の中を耕しているってんだと誰もが確信できるような世の中になることが私の願いです。そんな社会になるために出会った仲間たちとみんなで、これからも、ずっと、少しずつでも進んでいきたいと思うのです。きれいでいいと思わず、うれしが

たり、悲しかったり、間違ったり、正解だったり、妬んで、ケンカして、仲直りして、解かりあえて……。どんな命も尊重して、大切に。戦争のない、差別のない世の中がよいです。そんな世界を築いていきたいって心から願っています。友達になれたみんなと一緒に、一歩ずつでもそんな世の中に近づいていきたいです。そんな世の中になるために社会を耕していきます。ひとりぼっちじゃあとても無理だから、みんなも一緒に……。ね。こんな私ですが、これからもよろしくお願いします。

2025 年 8 月 29 日
そよかぜの家 三枝有紀



この夏感じた事

この夏は戦争に関わる話で私がよくやく感じられたことです。テレビで、空爆体験というものが行われていて、コンピュータグラフィックというもののなかで映像をみる装置を身に付けて体験するという映像が流れた。中学校の教室の中で1人の生徒の体験した映像という設定でした。

よくある友達とふざけ合っていた風景のち、ピカッと真つ白な光に包まれるまぶしさに目を閉じて、そして次に目を開けた瞬間、今、目の前にいた友がいなく教室もなくなっている。その後も続いている。5年生生きてきて今頃感じているのかよーと自分でも思いますが事実です。その後いつもの私の日常に戻り、きれいな景色をみると、ふと原爆が落とされたら、この今が一瞬でなくなるんやと度々おもえるようになりました。そして2つ目の朝の連続ドラマ小説の、あんなに話の中。やなせさんが戦地に行ってきた話だった。同じ兵隊として来ていた仲間の話。戦争が激しくなるまではとても仲良く遊んでいた子供の親を戦争が激しくなりその人が殺してしまっただけ

1 本税込 ￥880

W297 mm×H620 mm
オールカラー 7 枚つづり
切り取り線に沿って切って頂くと上部月の次の月が表示されます

※12 月より順次発送いたします

The illustration depicts a vibrant garden scene. In the foreground, there are several large tulips in white, pink, and yellow. A small yellow character with a smiling face is standing among the flowers. A bee is flying near the top, and a ladybug is on the ground. In the background, there are green hills and a blue sky with a few birds. Above the illustration is a calendar for May (5月) and below it is a calendar for June (6月).

2026

3

卯生

日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

卯生

2026

4

卯月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

卯月

卯生

2026	日	月	火	水	木	金	土
11	1	2	3	4	5	6	7
霜月	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					



2026	日	月	火	水	木	金	土
12		1	2	3	4	5	
師走	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2026	日	月	火	水	木	金	土
9			1	2	3	4	5
長月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			



2026	日	月	火	水	木	金	土
10				1	2	3	
神無月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

2026	日	月	火	水	木	金	土
7				1	2	3	4
文月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	



2026	日	月	火	水	木	金	土
8							1
葉月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29

■ お客様情報

ご注文日	年 月 日
フリガナ	
お名前	
ご住所	〒

☎

()

Fax

()

ご意見・ご質問・ご要望等

■ カレンダーご希望記入欄 税込¥880/本(送料別途いただきます)

2026 年

そよかぜの家オリジナルカレンダー

本

◎カレンダー 5 本以上送料無料!!

合計金額

円

お支払方法：商品と一緒に同包されている郵便振り込み用紙にご記入の上、お支払下さい。

ご注文は…

TEL



072-722-6161

Fax



072-722-4876

で、その仲良かった子供が親の仇でその人を銃でうつてしまう。その後その子が「仇は取ったけど清々しくない」とつぶやく。そうだよ。心にきゅーっと痛みを感じた気がしました。

皆さんも言っている通り、戦争は本当にいかん。本当に本当にあかん。悲しみ憎しみ以外生まれなすみません悲しい話ばかりですが、もう一つ「満天の星」というドキュメンタリー映画をみました。

1954年8月21日沖縄から九州へと学童疎開する子供たちや民間人を乗せた対馬丸、和浦丸、暁空丸が砲艦「宇治」駆逐艦「蓮」の護衛団に守られて出港した。その翌日22日に悪石島付近でその後追尾していたアメリカ潜水艦ボーンフィン号から発射された魚雷が対馬丸に命中して10分で沈没したそうです。護衛団はどうも以前に同じような攻撃があり助けに行

ったことによつてやられてしまったということ、その時、助けないう、選択をしたようでした。そんな壮絶な中でも海に投げ出されたままで助けあつて命をつないで生き残った人がいて、そのお孫さんが伝えていかないと語り部として繋げていく話です。生き残ったのもそれぞれ私にはわかりかねる思うことがあつたでしょう。生き延びてくれたのに、良かったでは終われず、また別の苦しみで対馬丸事件の事を誰にも話してはならないという脅しが入った口止めがあ

つたそうです。たまらないです。私がコメントしていいようには思えないのでそんなことがあつたという事実を私は知らなかったもので伝えられたらと思ひ書かせてもらいました。もちろん私が知らなかっただけかもしれないですが。今あることに感謝します。自分は追い込まれたらどうなるか自分で自分が信用できないと思つています。ですが人の心を持ちつづければるようになると願つていきたいです。話は違いますが、自ら命を絶つ人の側に誰かが声をかけてくれればとまれるかもしれないと思うことがあり、(そんな簡単ではないかもしれないですが) そよかぜにいると必ず誰かが声かけてとか、皆それぞれだったりで、こはそんなふうにも思わずに過でせる皆のパワーがあるかも?とふと思ひました。バラバラな文章まとまらなくて申し訳なかつたです。

春田 薫



「抗っていたこと」

抗うとは・・・従わない・抵抗するということ意味で使われています。いきなりの文章の始まり方として申し訳ないです。支援員の上村です。

今年の夏は、本当に暑い日が続きました。猛暑という表現よりも酷暑という表現の言葉をよく耳にしました。私がそよかぜ通信への寄稿文を書いているのは9月中旬頃で残暑がまだまだ続きますが、朝晩は少し秋らしさを感じるようになりしました。

特に早朝・夕方頃の秋の空が綺麗で、少しずつ秋へと季節が変わってきたなあと感じています。季節の変わり目は、体調に変化が起きやすいと言われます。皆様におかれましては、体調には気をつけて日々を過ごして下さい。

さて、今回、そよかぜ通信の私なりのメッセージとして、何故? 「抗っていたこと」にしたのには、私なりに色々と思入れがあります。実は、つい最近まで抗っていたこととしていたのですが、ついに白旗

をあげました。携帯電話をガラケーからようやくスマホデビューを8月に果たしました。時代や世の中の変化の波に逆らうのにもそろそろ限界かなあと感じました。つまらない話で申し訳なかつたです。

ここからが本題です。私自身が皆様にメッセージとしてお伝えしたい事とは・・・

9月になると私にとって絶対忘れることのない一日があります。それは、今から17年前の9月29日です。今でも9月29日のあの一日の記憶は鮮明に覚えています。天候も秋雨前線の影響で曇天模様の中、ポツリポツリと雨が降っていた事、その日一日の時間の経過、関わってくれた人達への私自身の接し方、そして何よりも自分自身の心の中の感情・・・それら全てが「抗う」という言葉がピッタリでした。何が? あつたのかは詳しく伝えるのには長くなるのと興味ないだろうなあと後、文字数にも限りがありますので割愛させてもらいます。申し訳ないです。

あの当時、何を? 自分は必死になつて抗っていたのか・・・? 17年経つて、今、振り返ると、私なりに一つだけわかつた事がありません。

それは「変化」でした。この17年前の9月29日という日から、自分を取り巻く大小様々な「変化」が全て悪い方向に進んでいってし

まうというネガティブな思考ばかりが私の心の中で大きくなり「恐れ」という感情が大きくなってしまいました。

当時の私は、「変化」や「変わる」と「嫌なもので、必死になって抗っていました。」「恐れ」の反対語は「勇氣」「安心」「度胸」です。様々な変化が嫌で更に怖くて仕方ない自分は、恐れが感情が大きくなり、新しいことへのチャレンジの一步を踏み出す「勇氣」が無かったのです。まさに Powells 「無力」でした。

あれから17年という月日が経過しましたが、本来の自分という一つの姿がわかっただけでも人として少し成長はできたかなあと恥ずかしながらも50歳を過ぎて思う今日この頃です・・・

でも、私自身にとってこの経験は貴重な経験です。多かれ少なかれ人は誰しも「変化」には何かしらの反応は示すものだと思います。特に、障がいがある人達は、様々な「変化」を敏感に感じると思えます。自分の感情を上手く伝える事・言葉にする事・表現する事が難しいとされているので、支援員として私が経験したことを少しでもそよかぜを利用している利用者さん達に活かしていけるよう支援に努めていければと思っています。

そよかぜの家 上村

こんにちは。ワークランドの小林です。

早くも夏休みが終わり、あれだけ鳴いてたセミが居なくなり、9月というのに暑いまま。早く涼しくなってほしいですね！

さて、販売員の岸田さんがお辞めになってから、小林もライトピア 21 の玄関口ビーで(火)(水)(木)の週三日、10時～13時の三時間ほど販売に出ています。始めは不定期だったの でなかなか購買に繋がらず苦戦しましたが、決まった日取りにした事で皆さんに覚えて頂き、顔なじみさんまで出来るほどになりました。

更にパートの前多さんも時間内に行ける所だけになりますが、学校の販売を再開しています。行けば「待ってたよ！ おかえり！」と言って頂いたそうです。本当にありがとうございます！！
もう少しワークランド内の体制を何とかして販売時間を増やしたいのですが、今年は難しそうです。

取敢えずは現状を維持しつつ出来る限りの事をしていこうと頑張りますので、ぱんのご購入宜しくお願い致します！！
10月からお待ちかねの焼いもぱんがはじまりますのでそちらもよろしくです！！

ちょっと間借りして、パートさんの募集です

朝7時～10時までの3時間
パンの袋入れ、パンの仕上げ作業。
男女問わず・年齢不問（立ち仕事が大丈夫な方）



障害者さんと一緒にお仕事をして下さる方を募集しております！

時給や内容の詳しいお話はワークランド 担当・小林までご連絡を！！

TEL 072-723-4826



編集後記に変えて

暑い、暑い…。と言いながら、日々を過ごしているうちに、カレンダーはもう9月になりました。

もう9月(9月1日の朝のことです。)だなあ。「カレンダーめくってえ。」と夫さんに頼んで、めくってもらっている姿を見ていると(めくってくれたカレンダーを見ていたのかもね。)今年は、もうカレンダーがあと2枚しかない!って、なぜか「あ～あ～」ってがっかりする?でもなく思ってしまった私がありました。まだまだ、こんなに暑いのに…。なんだか、寂しいような気持ちになりました。でも、そおいえば、100円ショップのセリアに行ったとき、確か8月24日日曜日だったと思いますが、カレンダーがいっぱい売られていて、びっくりしたのを思い出しました。一日、一日は、とてつもなく長く感じる人が多い日々なのに、過ぎてみれば、時の早さにうんざり?してしまうような、恐さを感じてしまうような…。

早朝、出勤前に庭の植木に水をあげようと玄関から外にでて見ると、どこからか「ツクツクボウシ」の鳴く声が聞こえてきました。「あっ!ツクツクボウシだ。そおいえば、この鳴き声よく聞くよな、お盆過ぎたら鳴きだすって聞いたことがあるよなあ。でも今年は、暑いから…。」なんて、ちょっと意味不明のことを思っていると、また、どこからか、「ミンミンゼミ」が。「ミンミンゼミだ!もう9月なのに、真夏みたい…。」と感じてしまい、なんか変だなあ。って思ったのです。ちょっと怖い感じがしますよね。でも、セミたちは一生懸命に生きているんだし…。虫は、悪くない…。自然も悪くない!改めなきゃいけないのは、環境破壊を繰り返す、人間だ!って私は思うんです。どうしたって大切にしないとイケないことはあるはず。してはイケないことは、してはイケない。日々を生きていく中で、流されてしまうこと、忘れちゃうこと、いっぱい、いっぱいある私です。でも、そんな自分のことは、棚に上げて社会情勢や身近な出来事に「なんだかなあ～」って、うつうつ思い時々怒っています。

大切にしてくちゃあイケないこと、してはイケないことも、たくさんあります。立ち止まって、考えて、してはイケないことをしてるんじゃないとか、大切にしてくちゃあイケないことを踏みにじってはいないかって見直ししながら、問い直ししながら日々を過ごしていかなければ…。って思います。いつも、いつも、四六時中考えるのは疲れちゃうけれど…。ね。

暑い、暑い、例年にはない暑さで、地球環境が人間の身勝手によって、破壊されて取り返しのつかないことになっていっているのではないかと、怖いです。

まだ、間に合う。まだ間に合うよね。って願いながら、何をどうしていったらいいのかと考えます。考えても、できることはあまり見当たりません。一人では、「何もできないよ。」って思うかもしれません。でも、大勢のみんなが、「ちょっとでも、何とかしよう。」って思うことで、思ってたかをする事で少しずつ、何とかなくなっていくように思うんです。私たちも自分自身で考えられることは、そうやって取り組んでいきます。だけど、政治家のみなさんも、ちゃんと異常気象、自然環境のこと考えて、対策をしてくださーい!って思います。社会を住みやすくするために、よくするために働くのが政治家の仕事なのですから。

今年もまた、そよかぜの家は、2026年オリジナルカレンダーを販売します。(100円均一ショップでカレンダーの販売に驚いたくせして…。)

2026年は良い年でありますように…。一刻も早く、戦争が終わりますように。障害者も健全者も、どんな命も尊重される社会になりますように。差別のない世界になりますように…。

そんな未来を夢みて…。いえいえ、夢なんて言っていられないです。そんな未来になるように、今まで出会った仲間たちと一緒に私は、社会を耕していきたいのです。

そんな願いを込めて2026年そよかぜの家オリジナルカレンダーを販売します。

みなさま、よろしく願いいたします。

2025年9月3日水曜日 そよかぜの家 三枝有紀

発行人

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行
関西障害者定期刊行物協会 〒五四三〇一五 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル 四階

編集人
連絡先
振込先

特定非営利活動法人そよかぜ 理事長 山口進
〒五六一〇〇四三 箕面市桜井3丁目8番2号 特定非営利活動法人そよかぜ TEL(072) 七三二一八六
郵便振替 〇〇九八〇〇一〇一三三八三三 特定非営利活動法人そよかぜ

定価一〇円